

阿波地域の公共施設の利活用に係る
サウンディング型市場調査
実施要領

令和元年 5 月

岡山県津山市

1 調査の名称

阿波地域の公共施設の利活用に係るサウンディング型市場調査

2 調査対象

(1) 対象施設名

あば交流館、阿波保健福祉センター・あば温泉、農産加工施設、阿波こぶしアリーナ、阿波児童館、旧阿波幼稚園、阿波ふるさとふれあい会館・多目的グラウンド、阿波森林公園・溪流茶屋バンガロー

3 調査の概要

(1) 調査の背景

津山市では平成28年2月に公共施設等の総合的、長期的な管理に関する行動計画として、「津山市公共施設等総合管理計画」を策定・公表しました。

この計画の実施にあたっては、「津山市公共施設マネジメント基本方針」に基づき、市民ニーズに対応した行政サービスを提供できる施設機能を、施設の安全性を確保しながら継続的に維持することを基本方針として、取り組んでいるところです。本市の厳しい財政状況の中、この取組みを更に進めて行くには、新しい価値観の創造と大胆な発想の転換による取組みが必要不可欠となります。そのため、公民連携や民間活力の積極的な導入による運営手法等の見直しを行う目的で実施するものです。

(2) 調査対象地区の概要

今回調査対象の阿波地域は津山市の最北部、鳥取県との県境に位置し、加茂川の源流域の標高約400mにある面積約42km²の地区です。人口は約500人で、高齢化率が約45%と非常に高く、生産年齢人口の減少も深刻な課題です。一方で、豊かな自然と1,000m級の山々に囲まれた冷涼な気候に恵まれ、集落の中心部でも川のせせらぎの音が聞こえるほど静かな環境であるため、平成30年までの7年間で25世帯50人を超える方の移住があります。

また、温泉をはじめ地域資源が豊富であることから、観光の潜在力が高いことも魅力のひとつで、年間約600人を超える台湾からの旅行者をはじめ、国内外から多くの観光客が訪れています。地域の中心部に庁舎、公民館、温泉施設、宿泊施設、飲食店・商店、スポーツ施設や廃園となった幼稚園など、どれも築20～30年と比較的築年数が浅い施設が多く、コンパクトな区域に集約されています。しかし、現在は稼働率が低い施設が多く、ポテンシャルが活かされないままの遊休施設となっており、行政、地域双方の大きな課題となっています。

(3) 調査の目的と期待される効果

今回の調査は、阿波地域の公共施設について、効果的な活用を図るため、自由な発想とそれぞれのノウハウを持つ民間企業、NPO法人、個人事業主、各種団体(以下、「民間事業者等」という)から市場性の有無や実現についての可能性、アイデアなどの意見を幅広く募り、これら施設の新たな利活用を対話形式により見出すことを目的に行います。

公共施設の利活用策を検討するうえで、市民ニーズや民間事業者等の意見、要望を調査することにより、多角的な視点による利活用の可能性を見出したいと考えています。今回、サウンディング

調査を行うことで阿波地域の公共施設の利活用につながる次の効果が期待されます。

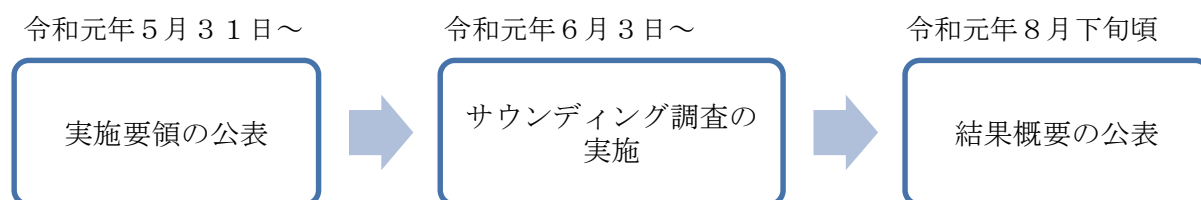
【本市が期待する効果】

- ・民間事業者等の視点により、施設の利活用について実現の可能性の高い活用案を幅広く検討することができる。
- ・地域の状況や課題を提示して対話することにより、課題解決に向けて民間事業者等のノウハウを活かした活用案を検討することができる。

【民間事業者等が参加する効果】

- ・民間事業者等においても直接対話を通じて、本市の方針等を直接聞くことができ、事業者等の考えや事業を実施しやすい条件整理を本市に伝えることができる。
- ・公共サービスの提供・運営方法に関することで、民間活力導入により大幅にサービスの向上する提案の場合、事業化に向けた具体的な手続き（津山市公共施設等の利活用に関する民間提案制度）へ移行できるため、具体的な事業提案を行うことも可能である。

（４）調査の進め方



4 提案の留意事項

（１）前提条件

提案にあたっては、以下の条件のいずれかを前提にしてください。

- （ア）提案者自らが実施する明確なビジョン、目標、魅力を感じているもの。
- （イ）地域における雇用の場を創出するとともに、他地域への人口の流出減少、他地域からの流入増加を促進し、地域振興や地域活性化につなげるもの。
- （ウ）新たな賑わいの場を創出し、交流人口の増加や地域住民間の交流機会の拡大を図り、地域振興や地域活性化につなげるもの。
- （エ）施設の利活用に地域住民の参加を促進することにより、民間事業者等と地域との協働による地域振興や地域活性化につなげるもの。
- （オ）地域振興や地域活性化を一過性のものとしないうえ、可能な限り長期にわたるもの。

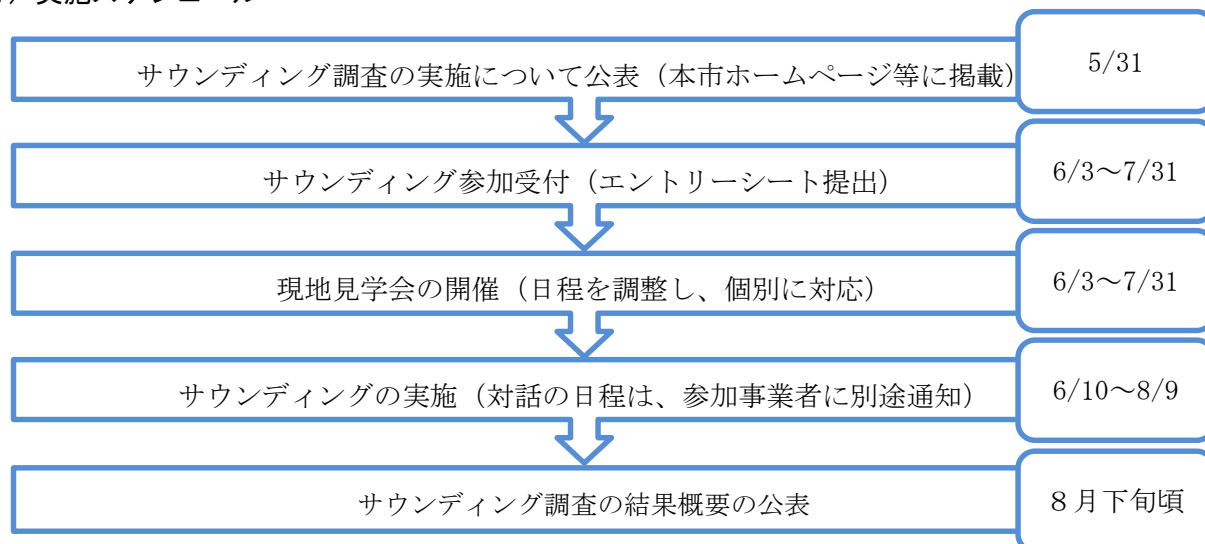
5 サウンディング調査の実施について

（１）調査の参加要件

サウンディング調査への参加要件として以下に示す民間事業者等とします。

- （ア）阿波地域の公共施設の利活用の実施主体となりうる者。
- （イ）対象施設を活用して、本市の地域振興、雇用の創出に寄与し、真剣に地域の活性化に資する情熱を有している者。
- （ウ）法令を遵守し、地域と調和し、地域に貢献する取り組みを提案できる者。
- （エ）津山市暴力団排除条例に抵触しない者。

(2) 実施スケジュール



①サウンディング調査の実施について公表

実施要領等を本市ホームページ等にて公表し、サウンディング調査への参加者を募集します。

②現地見学会の開催

現地施設等の見学を希望される場合は事前にエントリーシートにて財産活用課FM推進係まで申込みしてください。日程を調整の上、個別に対応します。なお、毎週火・水曜日が休館となる施設がありますので、あらかじめご了承ください。

【施設等見学会日程表】

日 程	時 間	施 設 名 等
6 月 3 日 (月) ～ 7 月 3 1 日 (水)	10 : 00 ～ 16 : 00	調査対象施設や地域周辺施設等

※現地まで送迎はありませんので、各自参集してください。

(3) サウンディングの実施

①対話の実施

エントリーシートの提出のあった事業者等と提案内容について、60分程度を目安に対話を行います。なお、内容によっては、時間を超過する場合がありますので、ご了承ください。

次の事項を反映したご意見やアイデアを特に歓迎します。

- ・地域の活性化に貢献できる取組み
- ・体験・交流型の観光を通じた交流人口の拡大と定住の促進に繋がる取組み。
- ・自然環境と施設を用いたスポーツや学びを伴う文化系の合宿需要に向けた取組み。
- ・施設全体の一体的な取組み。

対話の実施にあたり、特に資料の提出は求めませんが、説明に際し、必要な場合は4部を目安にご持参ください。また、必要に応じ、追加でヒアリングを実施する場合があります。ご協力をお願いします。

②開催日時等の通知

開催日時等は、電子メール等で別途通知します。

③実施結果の公表

実施結果については、公表する前に、内容を参加者に事前に確認したうえで概要を本市ホームページで公表します。

なお、公表に際しては、参加者名を公表しません。

④参加費用等

参加に要する費用（資料等作成費、交通費等）は、参加者の負担とします。

（４）サウンディング調査の参加受付

サウンディング調査に参加を希望する者は、「エントリーシート（様式１）」に必要事項等を記入し、電子メール、ＦＡＸ、郵送等により、申し込み期間内に、財産活用課ＦＭ推進係まで提出してください。

①申し込み期間 令和元年６月３日（月）～７月３１日（水）

②申し込み先 〒708-8501 岡山県津山市山北 520
津山市財政部財産活用課ＦＭ推進係
電話 （0868）32-2122
ＦＡＸ （0868）32-2039
E-mail zaisan@city.tsuyama.lg.jp

（５）民間提案制度との関係

本調査において「津山市公共施設等の利活用に関する民間提案制度」に基づく提案と同等の水準にあると認められる提案があった場合は、本市民間提案制度での提案の採否検討を行う場合があります。

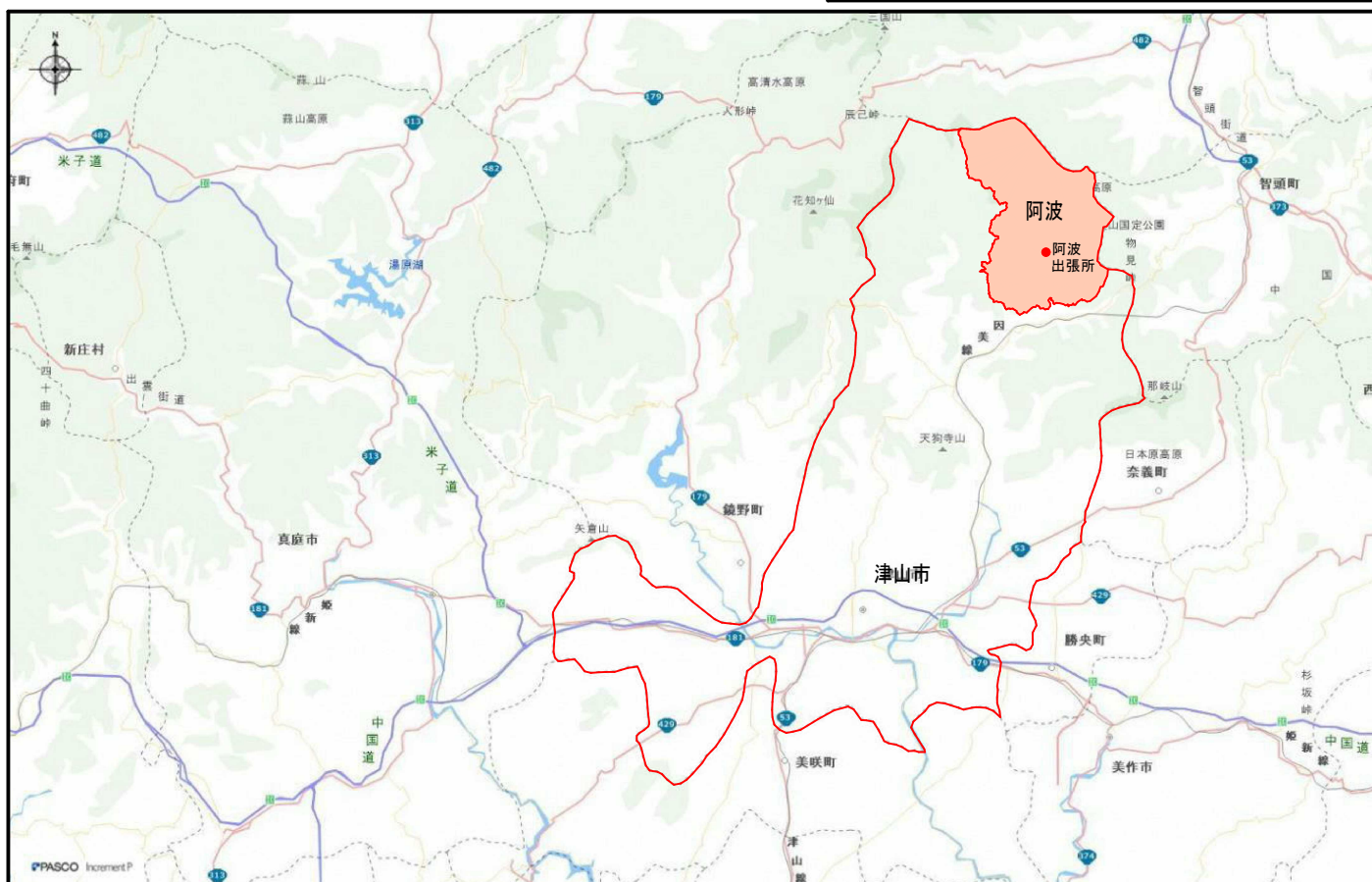
（６）その他

サウンディング調査は、参加事業者等のアイデア及びノウハウの保護のため、個別に実施します。

また、サウンディング調査への参加実績は事業者を公募する場合における評価の対象とはなりません。



広域位置図：岡山県津山市

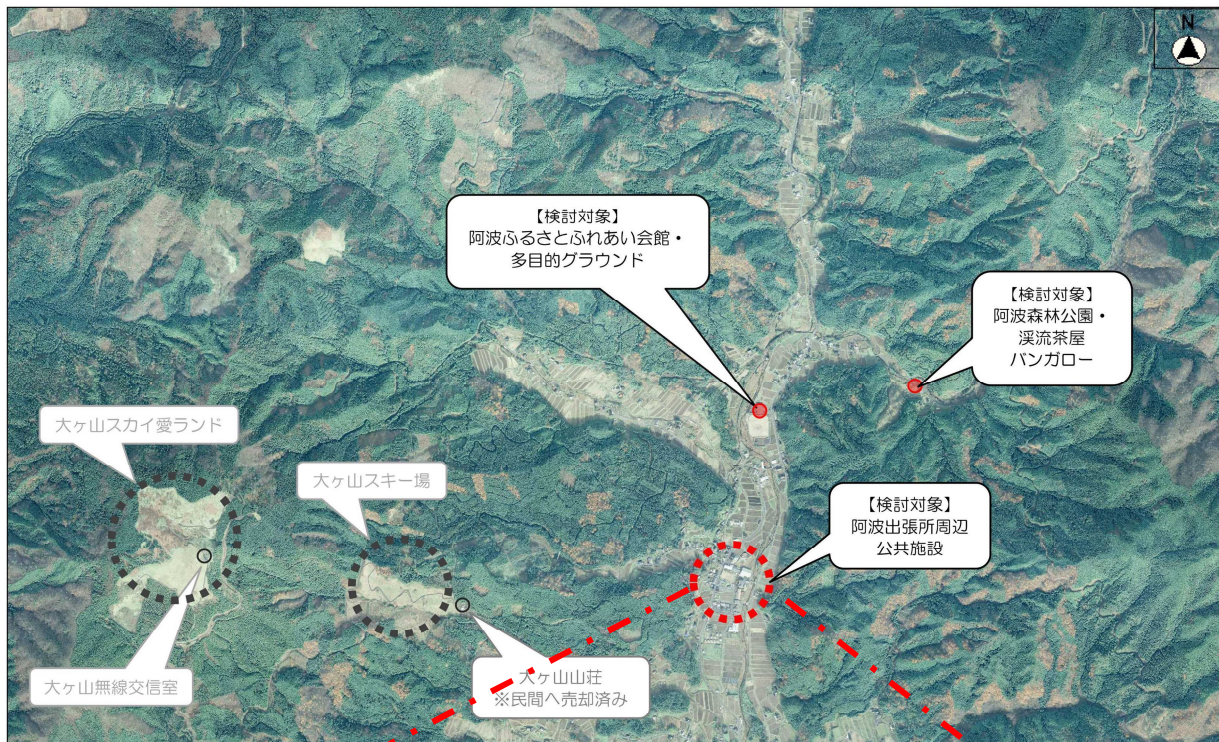


位置図：津山市阿波地域

施設配置図

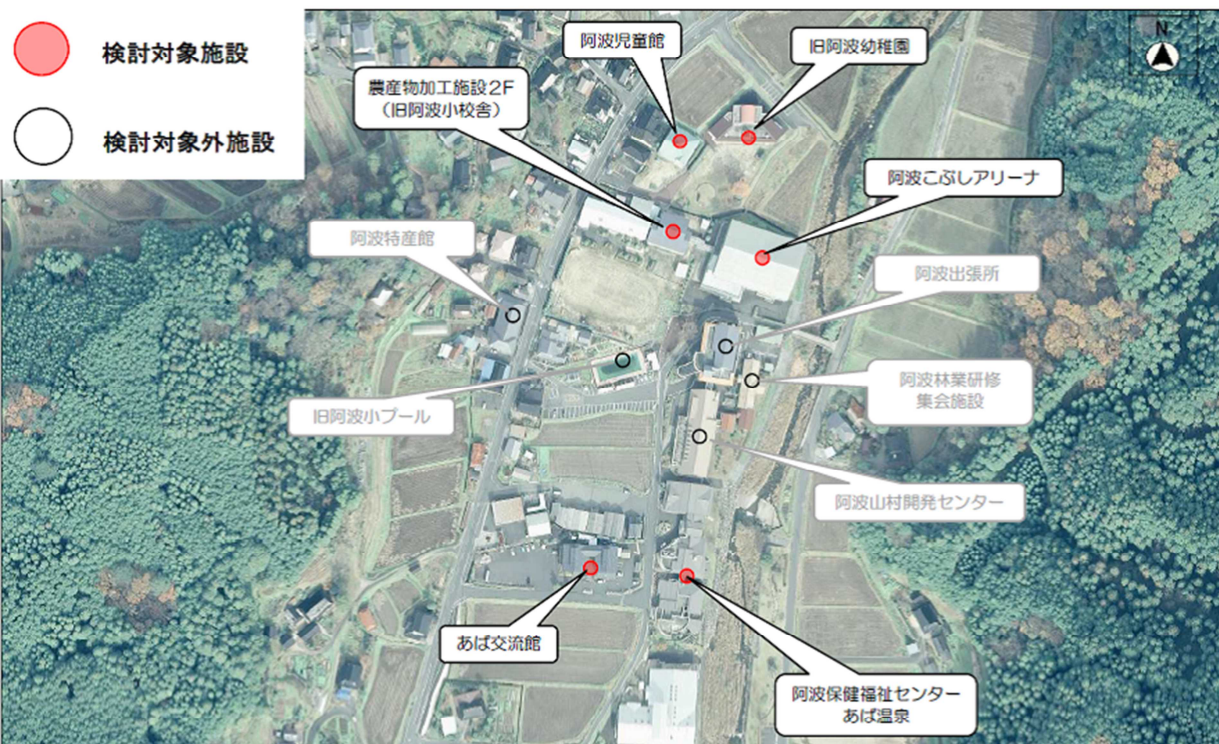
検討対象公共施設

《阿波地域》



検討対象公共施設 (阿波出張所周辺)

《阿波地域》



施設写真（全体）



阿波出張所周辺



阿波森林公園・溪流茶屋・バンガロー周辺

施設概要（外観・不動産情報等）

※施設毎の別添資料を参照してください

(様式1)

エントリーシート

調査名	阿波地域の公共施設の利活用に係るサウンディング型市場調査			
参加者名				
所在地	〒			
担当者	氏名		所属部署	
	TEL			
	E-mail			
対話希望日	第①希望			
	第②希望			
	第③希望			
現地説明会 希望日	第①希望			
	第②希望			
	第③希望			
参加予定者	氏名		所属・役職	
	氏名		所属・役職	
	氏名		所属・役職	
	氏名		所属・役職	
	氏名		所属・役職	